

IVEAT 福岡 Veterinary Specialty Practice (VSP)



International Veterinary Radiology Association (IVRA)

私が初めてIVRAの大会に出席したのは、カリフォルニア大学デイビス校で行われた大会です。当時、大学院の学生でした。日本からは当時、帯広畜産大学の臨床放射線学講座の教授だった広瀬先生、麻布大学の菅沼先生が参加されていたと思います。当時の私の主任教授だったMorgan先生はスウェーデンで博士号を取られていたので、ヨーロッパの教員と仲が良く、さらに、スイス国籍のSuter教授もカリフォルニア大学におられたので、盛大に行われました。と言っても、当時のアメリカでは、教員の給料も安く、まだ、開業専門医の数もほとんどいなかったもので、大学の講義ホールを使い、さらに、宿泊は学生寮でした。日本からの開業医さんはその頃は数もなかった町のホテルに泊まられていたように思います。その後3年おきに開催され、ほとんどの大会に出席しました。

いつ頃からか、アメリカの放射線医の給料が上がり、開業専門医も増え、American College of Veterinary Radiology (ACVR)の年次大会は一流ホテルで開催され、学会参加登録料も高くなってきました。

今年はその大会がACVRとの共同開催となり、10月14-19日にテキサス州ダラスで開催されます。事前登録の締め切りは8月末で、IVRAの会員であれば、さらに安くなります。期間中はほとんどの食事は含まれていたと思います。また、2回の半日観光ツアーも含まれ、最後の金曜日の夜は恒例のさよなら晩餐会が催されます。この晩餐会では、各国参加者が歌声を披露するという決まりになっています。

ACVRとの共同開催ということで、エキスパートによる教育講演を受けることができ、なおかつ、各国の放射線医と会話も楽しめます。まあ、訛りはあるので、聞き取りにくい場合もありますが、そこはお互い様なので。

この機会に、ぜひ、ご参加ください。IVRAの日本メンバーになるには、会費が3年間で15ドルです。参加される方は、私か日本獣医画像診断学会事務局にお知らせください。会費は現地ですぐにしますので、面倒な振込はありません。

ご検討ください。

最近の活動

最近の出張は大阪と横浜、それに合わせて、丸亀と静岡でのセミナーを行っています。大阪の実習の後、丸亀に向かって、少人数の勉強会を行っています。7月はワンコたちを連れてるので、FUJIFILMにお願いして、DR装置をお借りして、レントゲン撮影実習を行います。同時に、食道拡張症の可能性のある患者に食道造影をしたいと思います。DRだと3秒おきにレントゲン画像を撮像できるので、透視のように使えるのが、大きな利点です。

透視は患者と保定者への被曝量がかなり多いので、このような使い方もありかなと思います。

今月は11日と12日に新潟にお邪魔して、猫の超音波実習と夜間セミナーを行います。また、月末には初めての青森での画像診断セミナーも行います。さらに、栃木での腹部超音波実習6回シリーズも始まります。またまた、出張が増えて、バテバテになりそうですが、頑張ります。

インターネットラウンドも好調です。おそらく、アップルのアップデートが行われたからではないかと思いますが。画面共有も安定しているように思います。

そろそろ秋の腹部超音波実習6回シリーズの案内を出さないといけません。秋は大阪で1日、横浜で1日半になりそうです。

アメリカ獣医放射線学会認定専門医

宮林 孝仁